

The 72nd Ordinary General Meeting of Shareholders

第72回 定時株主総会

平成30年6月27日



TO THE NEXT GENERATION

報告事項



P21~42

1 事業の経過及びその成果




P21~42



わが国の経済

- 雇用情勢の着実な改善による個人消費の持直し
- 企業収益の改善を背景に設備投資の増加

緩やかな回復基調が続く

A glass globe is positioned on the left side of the image, resting on a map. The globe is transparent and shows the continents and oceans. The map is colorful and shows various geographical features. The background is slightly blurred, focusing attention on the globe and the text.

世界経済

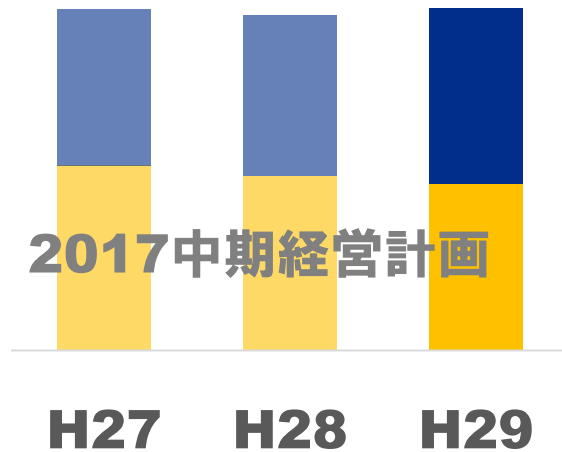
- 米国、欧州で回復傾向
- 中国において持直しの動き

緩やかな回復基調が続く

2017中期経営計画 (H27年度～H29年度)



■ 国内 ■ 海外



基本方針

長期ビジョン達成に向けた
「顧客起点のモノづくり」による
事業成長と収益性向上

基本戦略

事業戦略

機能戦略

企業戦略

2017中期経営計画 (H27年度～H29年度)



海外事業

市場の特性に応じた地域別戦略を展開

- **米国 金融市場向け**
「紙幣入出金機」の更新需要の獲得
- **欧州 流通市場**
「紙幣硬貨入出金機」等の販売拡大
- **アイルランドの販売代理店を買収し**
直接販売網を拡充



2017中期経営計画 (H27年度～H29年度)



国内事業

各市場での販売拡大に注力



- 主要製品「オープン出納システム」
窓口用「紙幣硬貨入出金機」の更新需要



- コンビニエンスストア向け
「レジつり銭機」を市場投入



2017中期経営計画 (H27年度～H29年度)



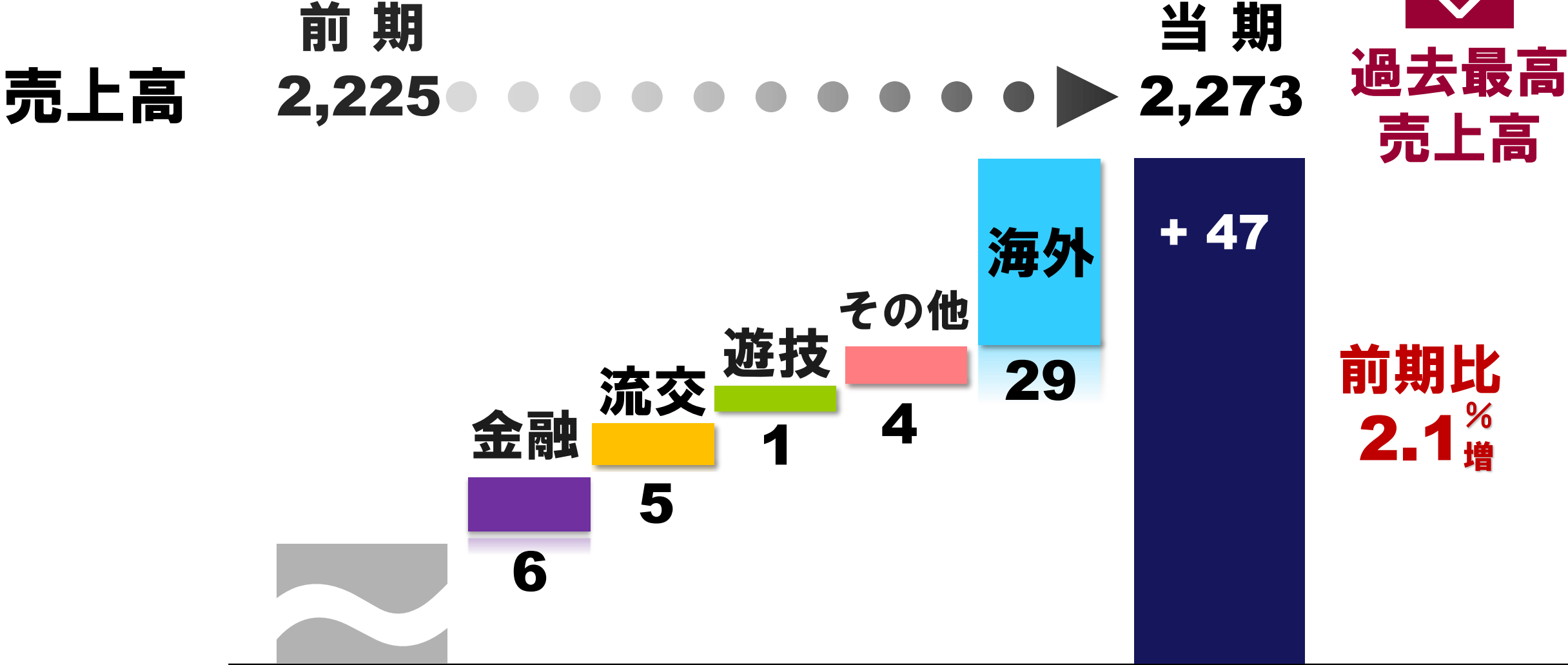
企業体質の強化

生産・開発効率の向上に注力

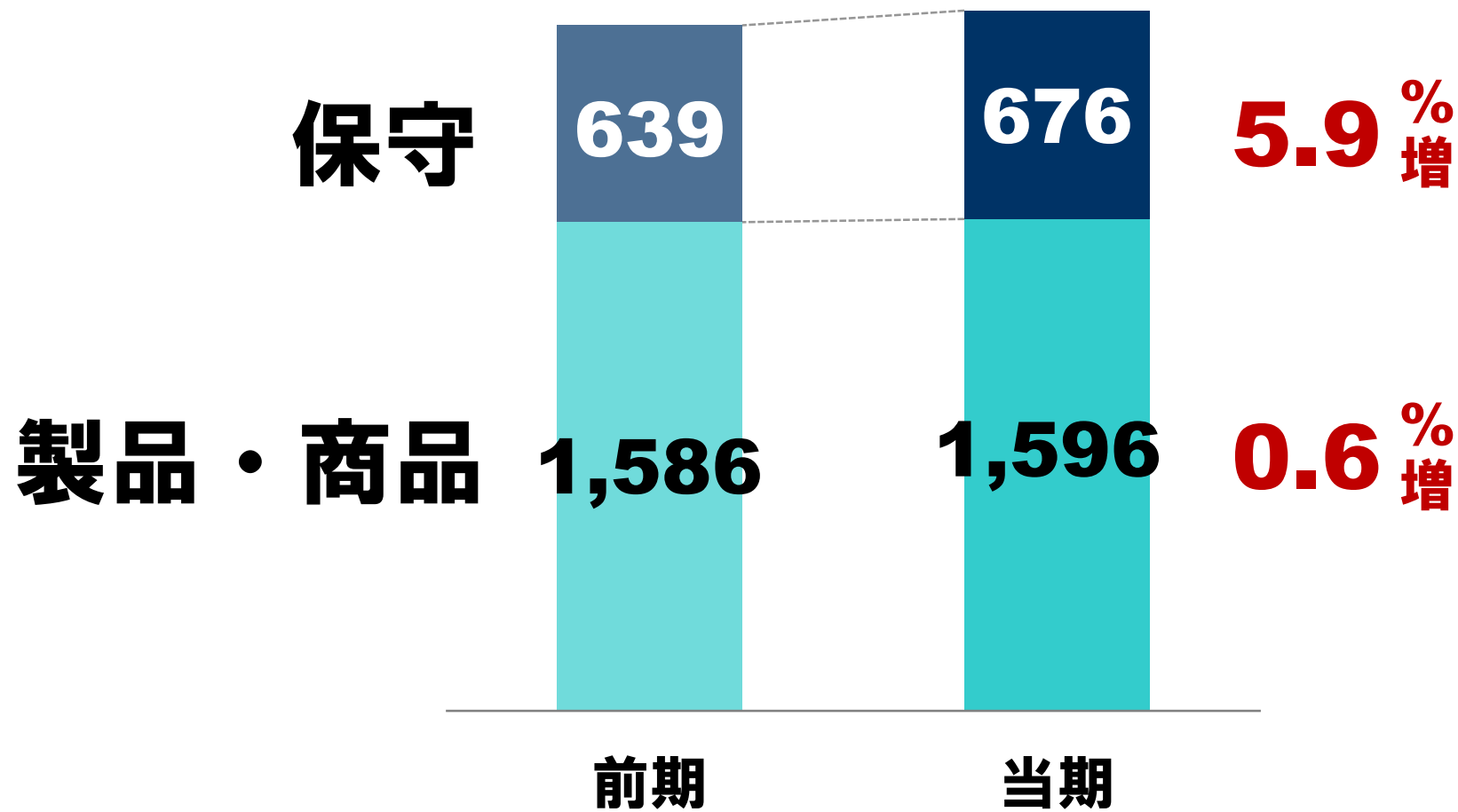
- 生産の自動化
- 技術のプラットフォーム開発



連結売上高 (億円)

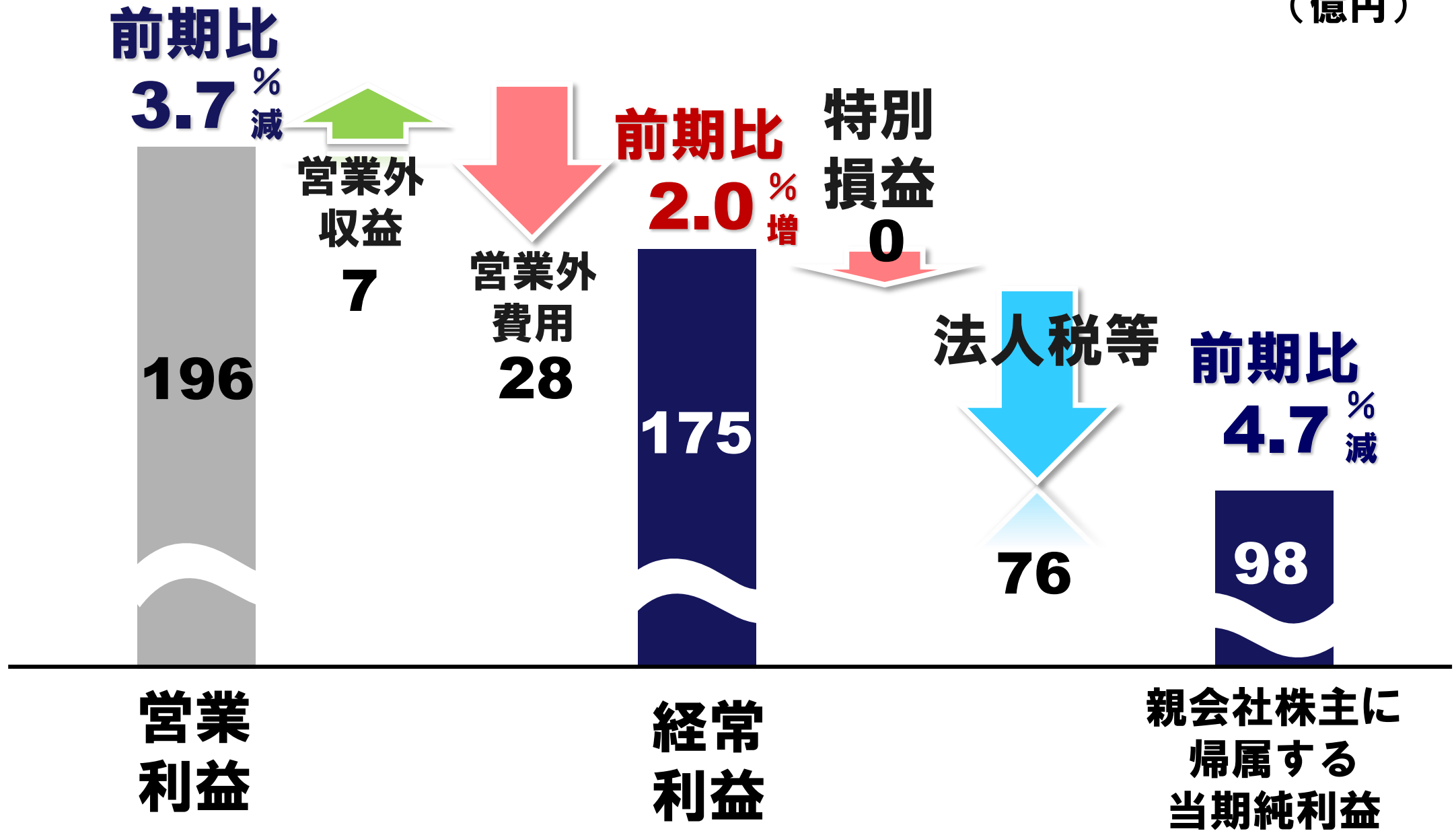


連結売上高 (億円)



連結損益計算書

(億円)



連結貸借対照表

資産
3,029億円
(-98億円)

負債
1,107億円
(-105億円)

借入金
の返済

タラリス社買収時の
「のれん」等の償却

純資産
1,921億円
(+7億円)

貸借対照表（単体）

資産

2,401億円
(-107億円)

負債

648億円
(-109億円)

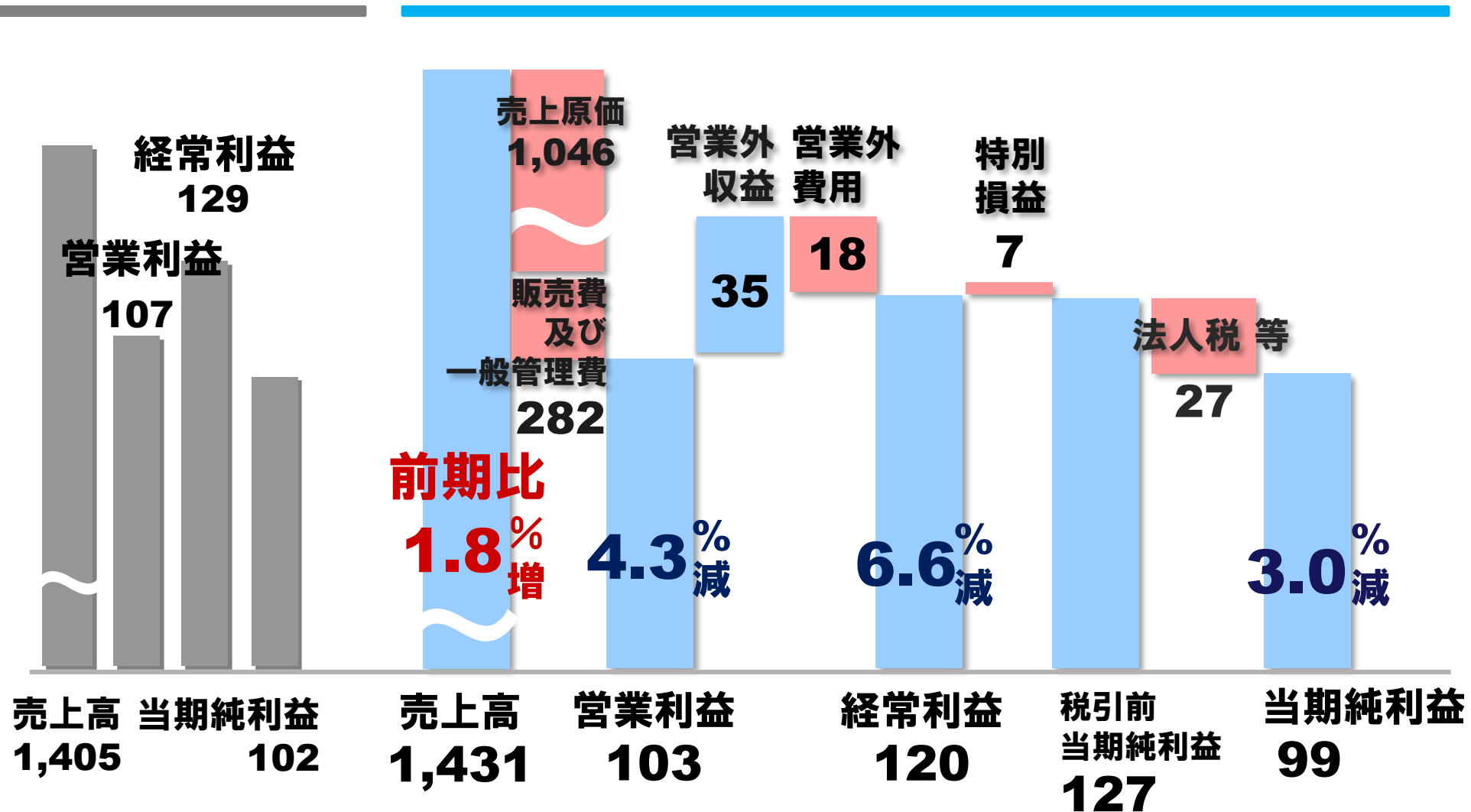
純資産

1,753億円
(+1億円)

(単体) 損益計算書 (単位：億円)

前期

当期



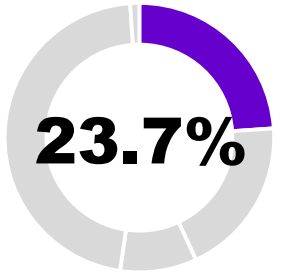
**連結株主資本等変動計算書、連結注記表、
(単体)株主資本等変動計算書、個別注記表**

 **当社ウェブサイトに掲載**
(法令・当社定款第17条に基づくインターネット開示)

セグメント別の概況



P22~24



概況



紙幣硬貨入出金機
〈RBシリーズ〉

◆ 窓口用「紙幣硬貨入出金機」
更新需要を捉え好調

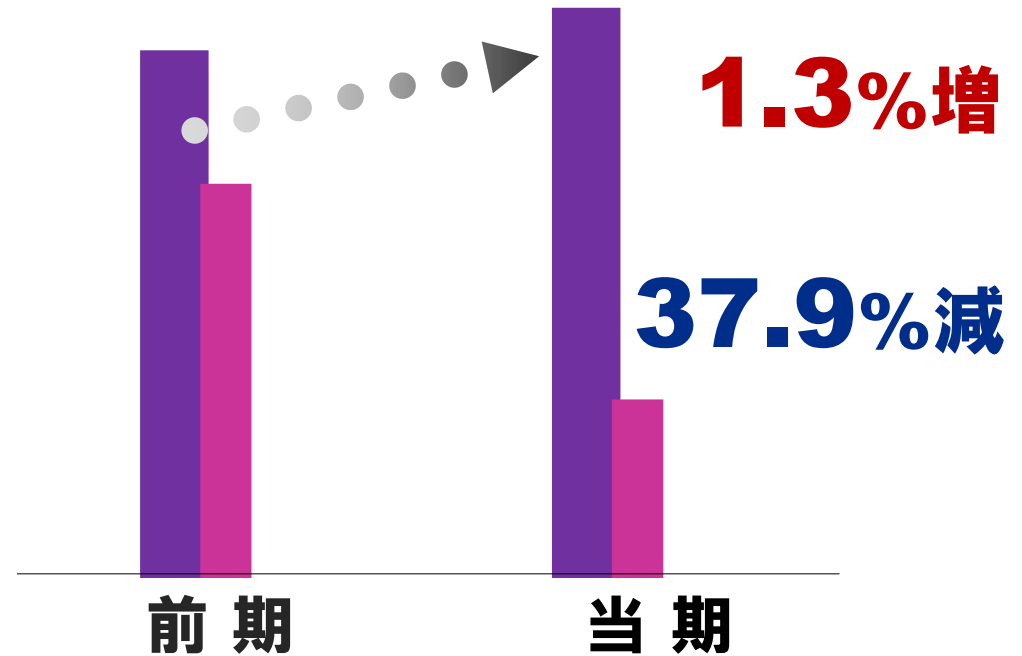
◆ 「オープン出納システム」
中小規模店舗向けの
コンパクトタイプ 低調

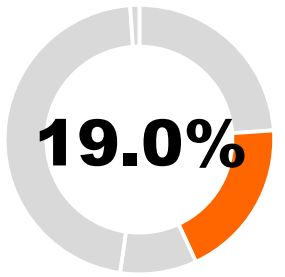


オープン出納システム
〈WAVE Cシリーズ〉

業績（百万円）

| | | |
|------|--------|---------------|
| 売上高 | 53,301 | 53,970 |
| 営業利益 | 6,510 | 4,043 |





概況

◆ 「多能式紙幣両替機」
好調

多能式紙幣両替機
<ENシリーズ>



◆ 警備輸送市場向け
「売上金入金機」 低調

売上金入金機
<DSSシリーズ>



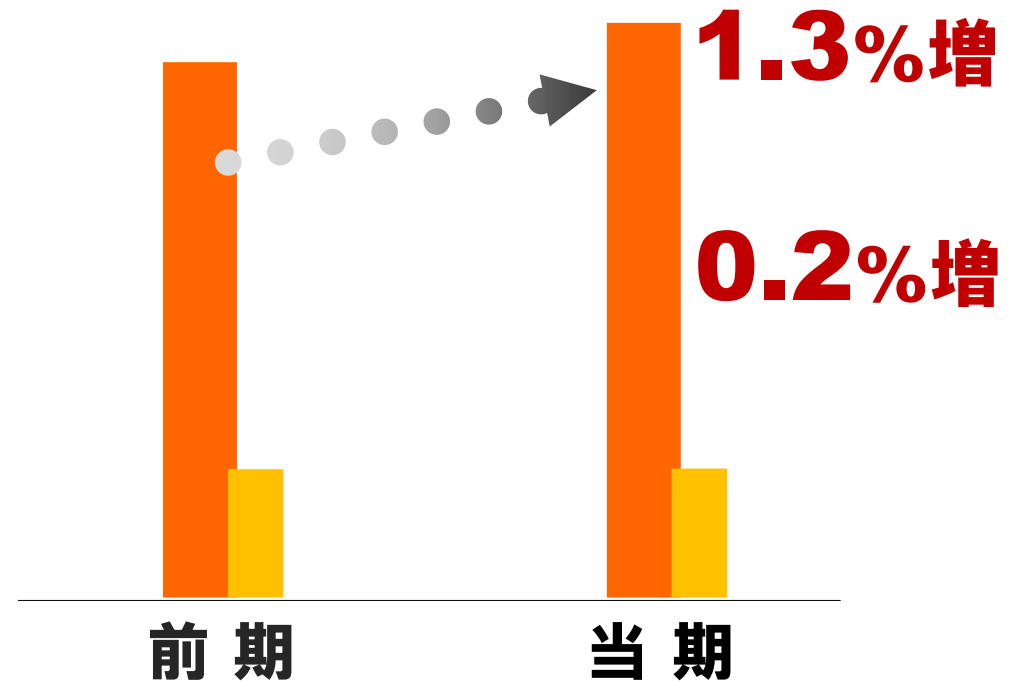
◆ 主要製品
「レジつり銭機」
前期並み

レジつり銭機
<RT-300/RAD-300>



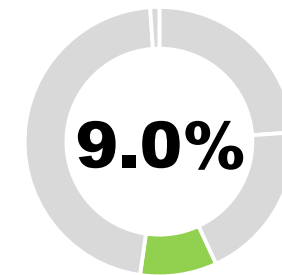
業績（百万円）

| | | |
|------|--------|--------|
| 売上高 | 42,657 | 43,216 |
| 営業利益 | 3,468 | 3,476 |



国内

遊技市場



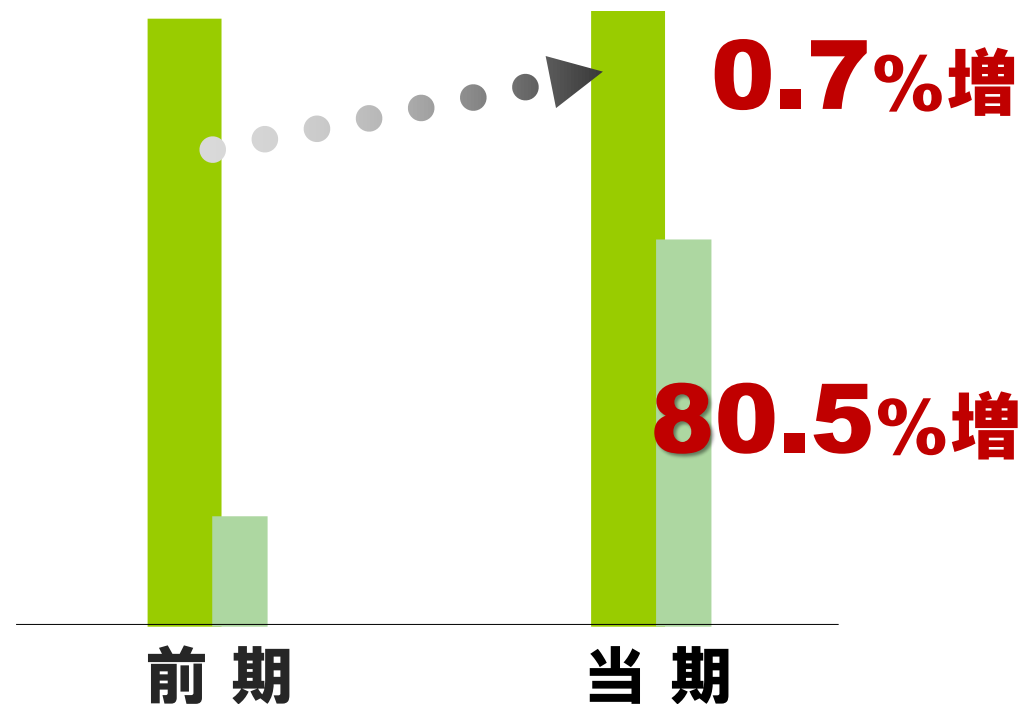
概況



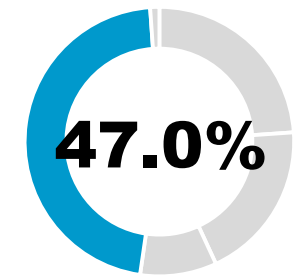
業績 (百万円)

| | | |
|------|--------|--------|
| 売上高 | 20,434 | 20,570 |
| 営業利益 | 737 | 1,331 |

- ◆ 主要製品
「カードシステム」等
低調
- ◆ 遊技動向分析システム
「遊動」好調



初めて国内事業を上回る営業利益を計上



概況

<RBGシリーズ>



- ◆ 金融市場向け「紙幣入出金機」
米国で 好調
欧州・アジアでは 低調

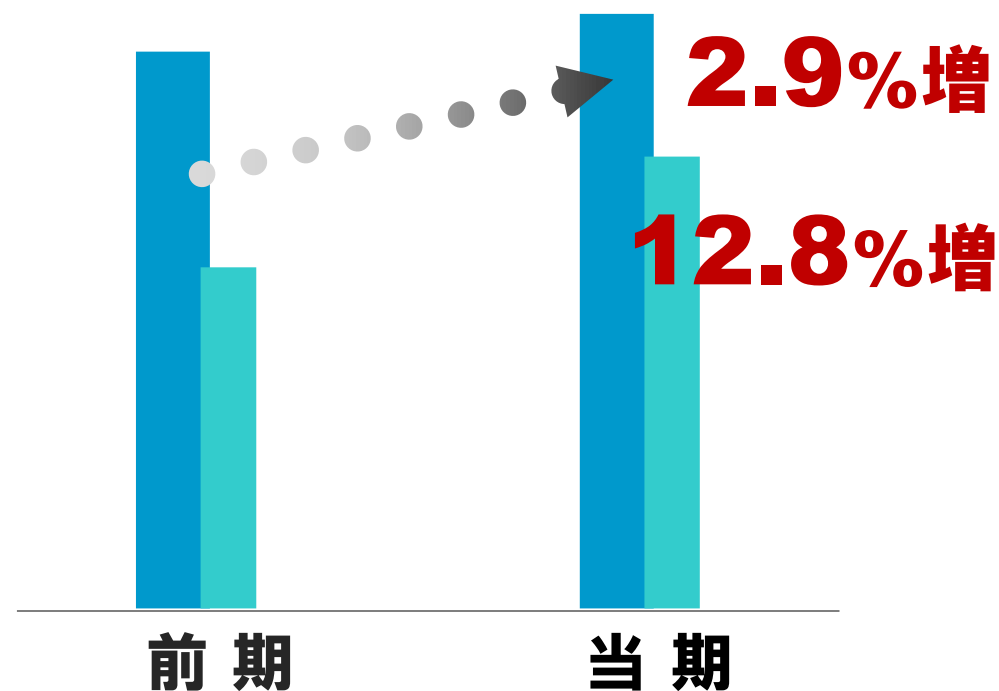
- ◆ 流通市場向け「紙幣硬貨入出金機」
欧州で 好調

<CIシリーズ>

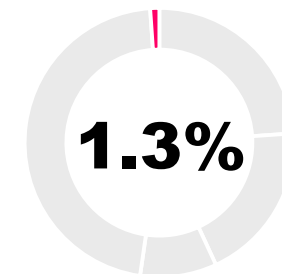


業績（百万円）

| | | |
|------|---------|----------------|
| 売上高 | 103,787 | 106,758 |
| 営業利益 | 9,900 | 11,167 |



その他



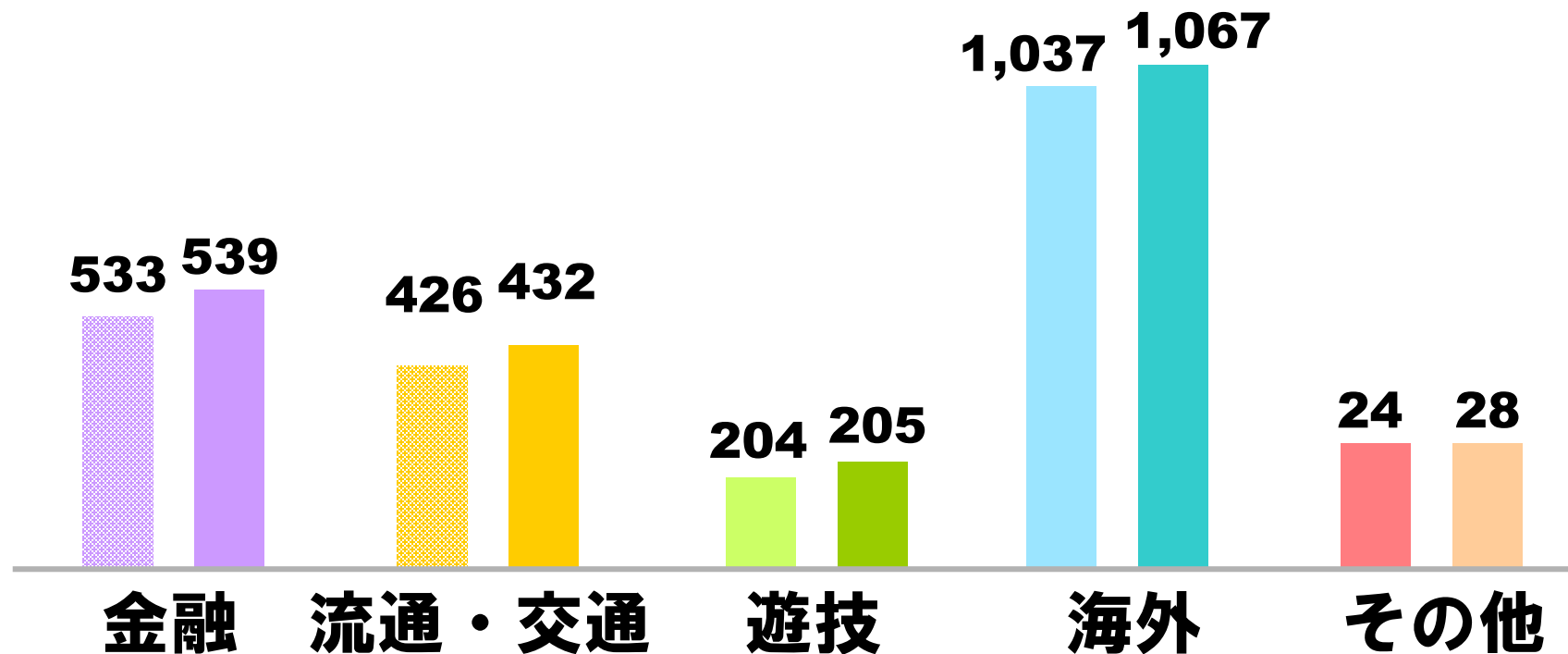
売上高 **28億 45百万円**
 (+ 18.6%)

営業損益 **- 4億 03百万円**

セグメント別の概況 (左：前期 右：当期)

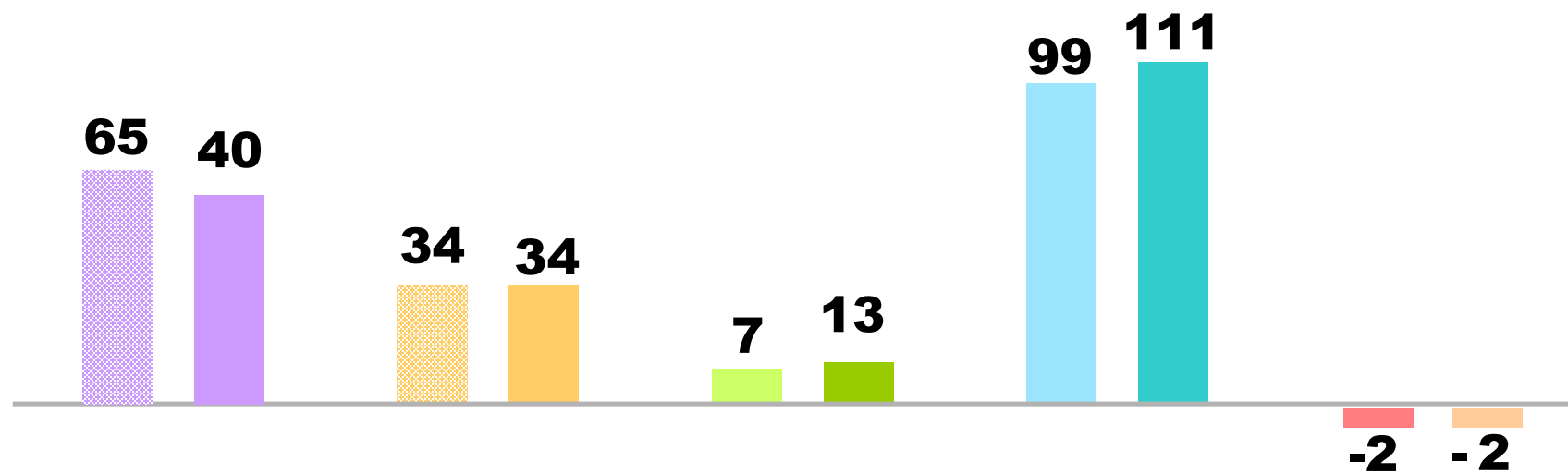
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



(2) 設備投資等の状況

設備投資総額 87億06百万円

完成した主要設備

- **新製品生産のための金型**

継続中の主要設備

- **子会社（GGSグループ）における業務システム**

(3) 資金調達の状況

重要事項はありません。

- 1** 企業集団の現況に関する事項
 - 2** 会社の株式に関する事項
 - 3** 会社役員に関する事項
 - 4** 会計監査人の状況
-

 「招集ご通知」27～38頁

- 5** 会社の体制及び方針
-

 当社ウェブサイトに掲載
(法令・当社定款第17条に基づくインターネット開示)

対処すべき課題



P25~26

長期ビジョン



中期経営計画

長期ビジョン2028



GLORY 2028

Glory Group Long-Term Vision

人と社会の「新たな信頼」を創造する リーディングカンパニーへ

世界中の誰もが望む安全、安心、確実な社会。

安全でシームレスな決済手段や、

あらゆるシーンで自分自身であることを瞬時に証明する仕組みなど、

未来の社会には、「新たな信頼」が求められます。

私たちは、あくなきチャレンジ精神と 通貨処理の枠を超えた先進の技術で、
その未来を実現します。

お客様とともに「新たな信頼」を創造するリーディングカンパニーへ。

今後10年の傾向として予想されること

決済手段の多様化

現金から 非現金に

日本における
人口減少、高齢化

技術の
飛躍的な進化

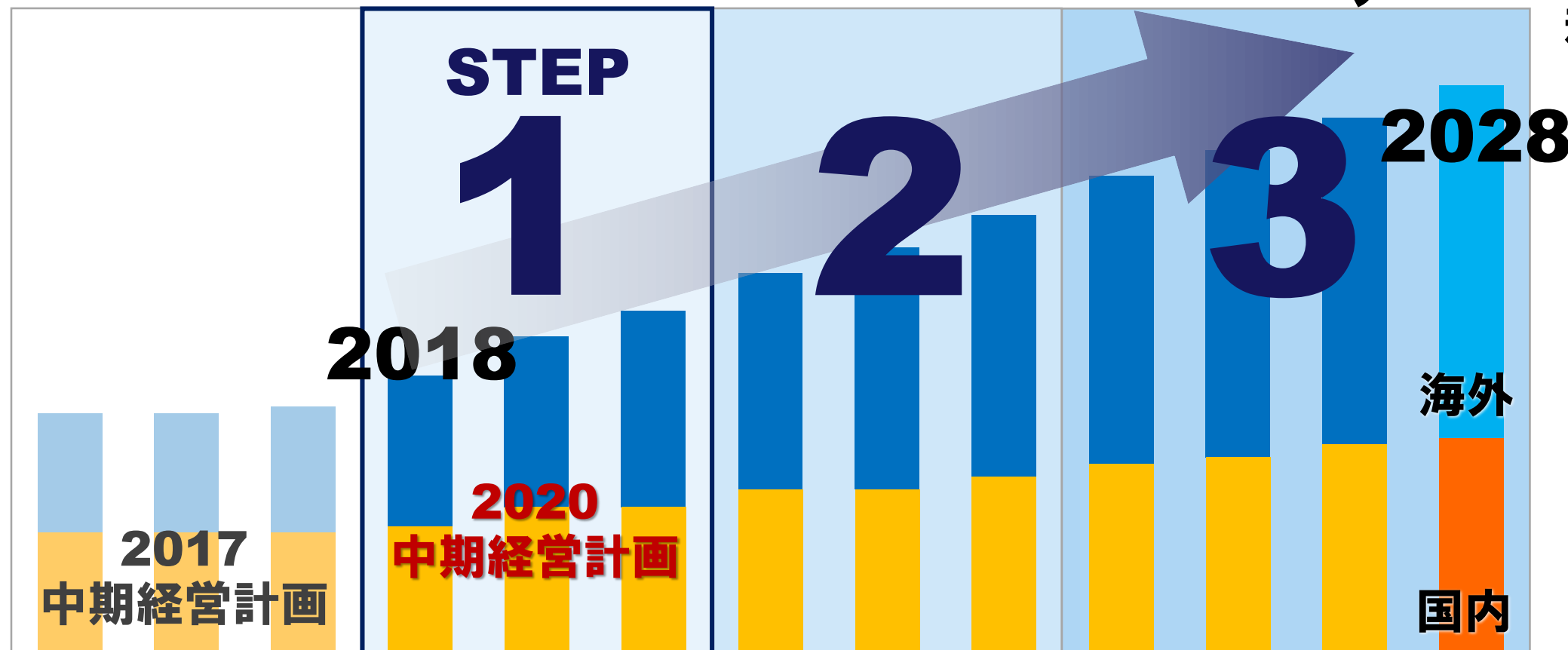
安心・安全
への意識の拡大

新興国における
人口増、経済発展



長期ビジョン2028

目標 連結売上高
5,000 億円
規模



事業領域拡大による収益性向上

長期ビジョン実現に向けた仕込み

グローバル展開に向けた事業基盤の確立

新たな事業の柱として収益に貢献

中期経営計画2020



1 既存事業

持続可能な事業運営の
基盤づくり

2 新事業

社会課題解決に向けた
協働の取組み強化

3 経営基盤

成果に直結する生産性の
向上と企業体質の強靱化

売上高

2,600億円

営業利益

250億円

ROE

8.0%

戦略的投資枠（3事業年度）

600億円

1 既存事業 持続可能な事業運営の基盤づくり

目標

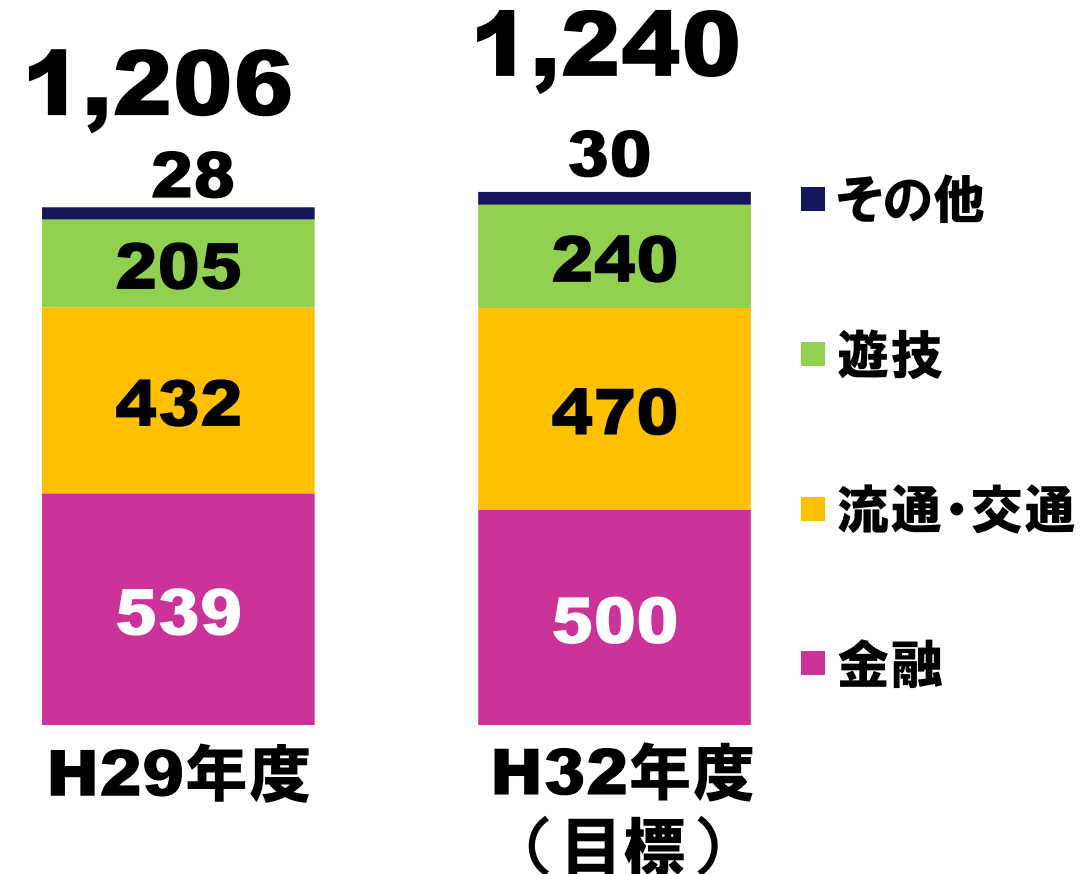
- 各事業の成長力を強化

1 既存事業 持続可能な事業運営の基盤づくり

国内事業

(単位：億円)

- 各市場の変化に柔軟に対応したソリューション提案
- 次世代店舗スタイルの実現
- 非現金分野の拡大

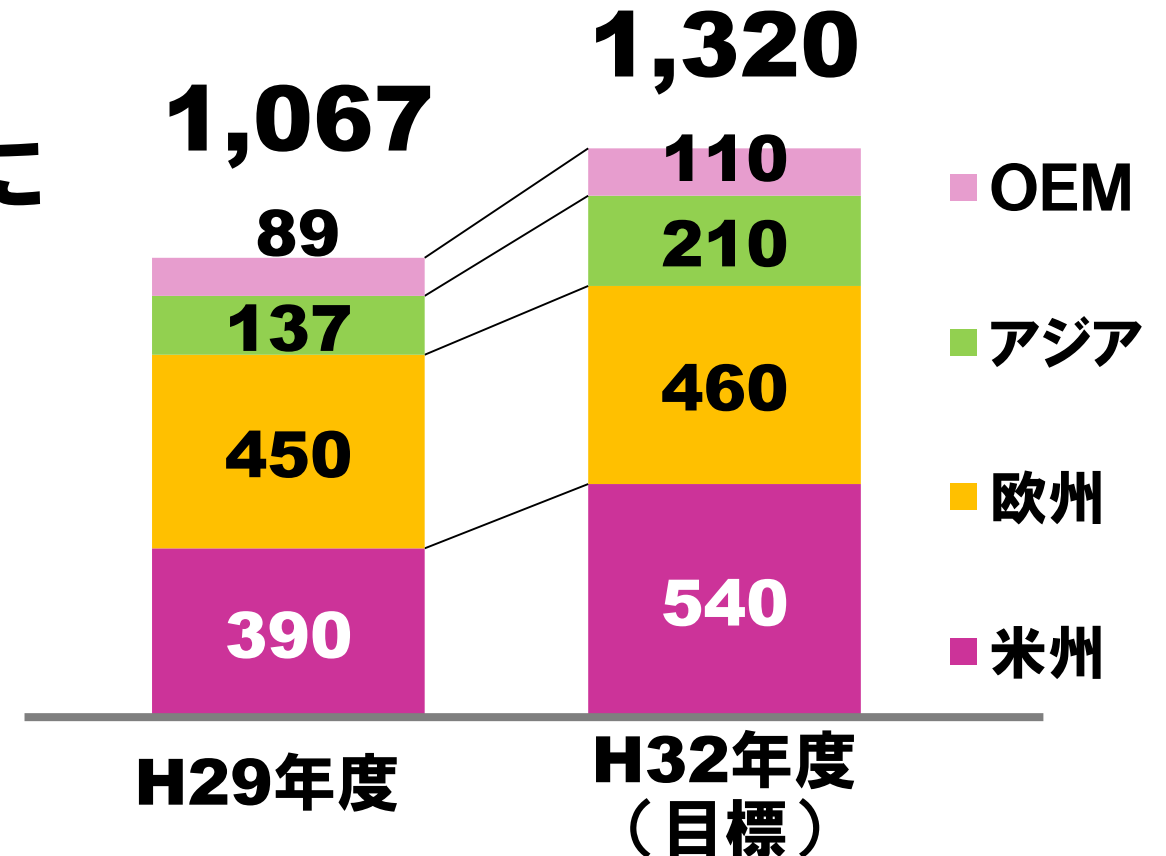


1 既存事業 持続可能な事業運営の基盤づくり

海外事業

- セルフオペレーション化による金融事業の再成長
- 流通事業のさらなる加速

(単位：億円)



1 既存事業 持続可能な事業運営の基盤づくり

- ・ 海外品質保証体制の強化



- ・ コア技術の深化
- ・ システム対応力の強化
- ・ 自動化等による生産性の向上
- ・ グローバル生産体制の確立
- ・ グローバル調達の拡大

事業全体の **バリューチェーンの最適化**

2 新事業

社会課題解決に向けた 協働の取組み強化

通貨流通の新たな 管理スキーム構築

通貨のライフサイクルを管理できる新たなスキームを構築



多様な決済手段 の提供

決済手段の多様化に向けたサービスインフラの強化



個人認証事業 の確立

生体認証技術による安全・安心なソリューションの提供

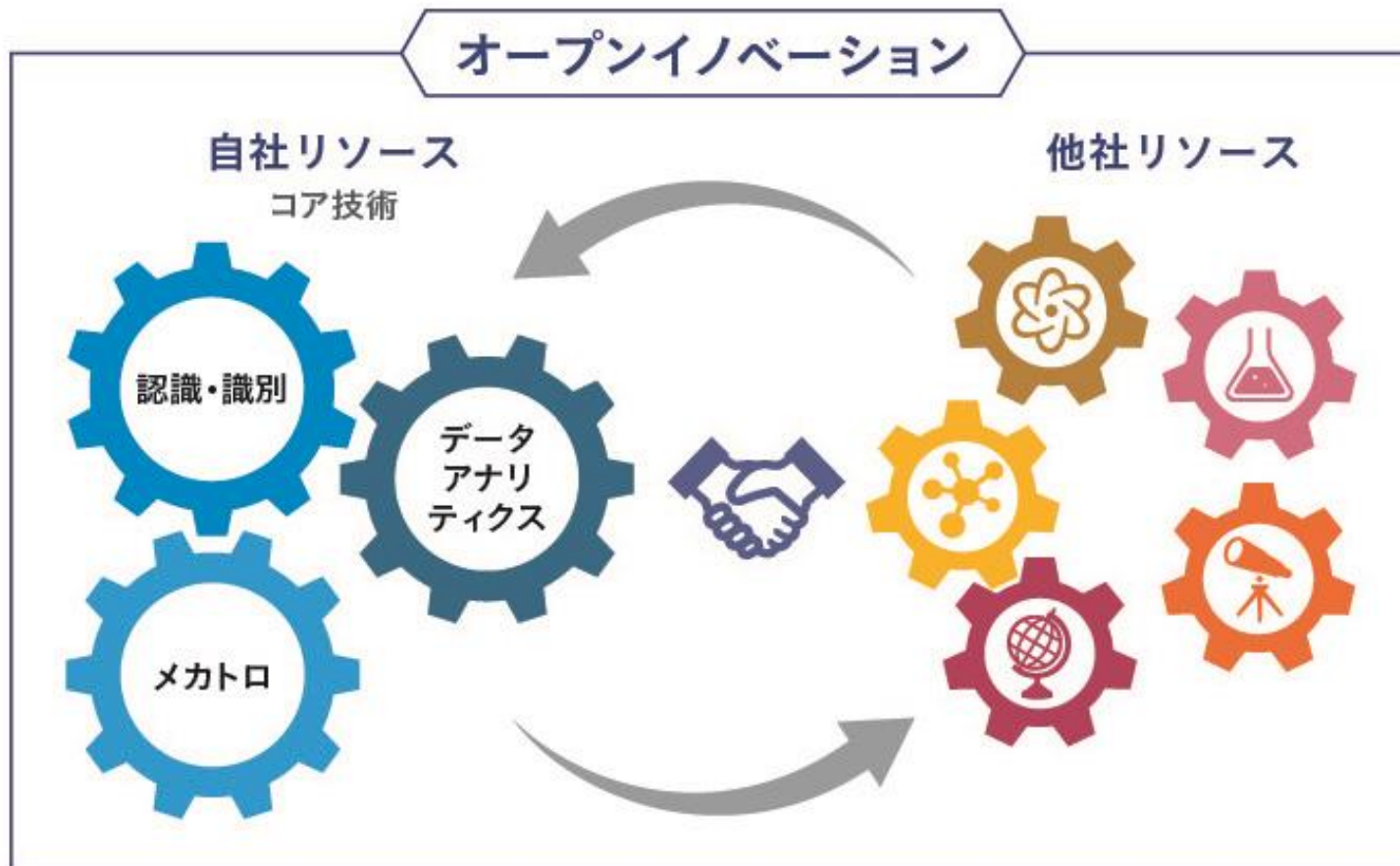


自動化社会の 推進

ロボットSIサービス提供による人とロボットの協働環境実現



2 新事業 社会課題解決に向けた 協働の取組み強化



- 経営資源を積極的に配分
- データアナリティクス技術を新たなコア技術として獲得
- オープンイノベーションによるシステムエンジニアリング技術の強化

3 経営基盤 成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化

1 既存事業 2 新事業 実現に向けた

- 働き方改革 の実施
- 業務改革による 生産性の向上
- オープンイノベーション実現 のための
組織風土改革

次期(平成31年3月期)の連結業績予想

| | | |
|----------------------------|----------------|---------------|
| 売上高 | 2,400億円 | + 5.6% |
| 営業利益 | 200億円 | + 2.0% |
| 経常利益 | 200億円 | +13.9% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 120億円 | +21.3% |

The logo consists of a dark blue square with the word "GLORY" written in white, bold, uppercase letters in the center.

GLORY

Confidence Enabled

人と社会の「新たな信頼」の創造へ